

Int. Cl.  
G 02 C 11 00

識別記号

特許庁内整理番号  
7174-2H

公開 昭和55年(1980)4月11日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 5 頁)

出願 日

-402

出願 人 徳田昭

特 許 第 昭53-123661

東京都渋谷区代々木5-15-10

出 願 日 昭53(1978)10月9日

-402

発 明 者 徳田昭

代 理 人 弁理士 松下義勝 外 2 名

東京都渋谷区代々木5-15-10

# 明 細 書

## 1 発明の名称

磁 界

## 2 発明の要旨

磁界フレームの少なくとも一部内に埋設された  
元素体を収容させておくことを特徴とする磁  
界。

## 3 発明の詳細な説明

本発明は、磁界、静電、静電等の治療に好  
適であり、しかも、人体に適用されたときにも、  
ほとんど感ぜられることのない磁界に係る。

最近、新しい医学として磁気医学が脚光を  
あび、とくに磁気医学は、磁気と生体反応との関  
係は研究され、それをもとにして磁気の治療を  
生体の治療等に適用することが行なわれている。

また、従来の磁気医学を大別すると、その適  
用対象から、直接磁気を治療手段として人体  
等に適用するものと、磁気像としての磁気体を  
人間の病気の発見手段として用いることとに  
分けられる。

また、最近に、このような磁気医学の研究の  
成果の一つとして、種々の磁気治療器具が開発  
され、これら器具の中には、その効果があるま  
り確かめられていないものも見受けられるが、所  
定の医学的效果がすでに立証されているものも  
ある。

例えば、所定の医学的效果が立証されている  
磁気治療器具としては種々のものが提案実施さ  
れているが、その中で、磁気バンドと称する腕  
輪、腰巻、首巻、くびき等が最も普及されて  
いると云える。これらの器具はどれも人体中の  
血液の循環性の向上を目的としたものであつて、  
血液成分がイオン化して流動しているため、外  
部から磁気を与えることによつて血管中に微弱  
な電流を流して増勢し、血液の循環性を向上さ  
せるものである。このため、人体の一帯に磁力  
線の磁気体を収容すれば、それによつて血管の  
周囲に磁場が形成するため、その血管中を流動  
する血液には、力が与えられ、血液の循環性が  
向上し、肩こりや、その他の病気がなおされ

るとされている。

しかしながら、従来例では、上記の眼鏡等の  
治具に適用されるものは提案実施されているが、  
最も日常において使用する眼の保護、治療に  
関するものは提案されていない。

すなわち、一般に近視、遠視等には眼鏡の用  
用によつて視力を正常状態に保持することが行  
なわれているが、最近では、眼鏡のファッション  
化によつてなるべく薄いフレームや、審美的デ  
ザインのフレーム等が提案実施されている。こ  
のため、疲れ眼の場合等に、この眼鏡の一部に  
磁性体等を装着することが行なわれているが、  
外装が損なわれ、実用に供することが困難であ  
る。

また、眼鏡の眼鏡部分を磁性体によつて磁  
状に成形することも考えられる。この点、従来  
から、鉄その他の磁性材料に磁性を附した指輪  
や磁石等を組み込んだ首かざり等が知られてい  
るが、前者の指輪は、鉄その他の金属を円筒し  
くは円状に成形し、それを層状にして磁性を附

(3)

以下、図面によつて本発明の実施態様につい  
て説明する。

まず、第1図ならびに第2図はそれぞれ本発  
明の一例の実施例に係る眼鏡の斜視図であつて、  
第1図ならびに第2図において、符号1は眼鏡  
部、2はつるを示し、通常の眼鏡と同様に、2  
つの眼鏡部1とつる2とから眼鏡フレームは成  
つて、このフレームの各眼鏡部1にはそれぞれ  
レンズ3がはめ込まれて構成されている。

次に、上記眼鏡に係る眼鏡フレームの少なく  
とも一部の中に、層状された充填体5を収容し、  
この充填体5は眼鏡フレームの外側に露出しな  
いよう構成する。

すなわち、第3図は一つの眼鏡部1の斜視図  
であつて、この場合は、眼鏡部1は外装チュー  
ブの如き包囲体1と充填体5とから成つて、  
このチューブ1は、通常の眼鏡と同様に、金、  
銀、銅その他の磁性体に優れる金属から構成す  
れば十分である。一般に、眼鏡は、通常の指輪  
その他の装身具と同様にファッション化傾向が

(5)

したものであつて、大きな磁性を附するため、  
通常は、鉄質そのものをフェライトその他の磁  
性体から構成されている。しかしながら、その  
ような磁性体では一般に加工性が劣り、調整す  
る以外に、円筒しくは円状に加工成形すること  
は困難であり、外装に優れ、眼鏡部分となり  
うる磁性体を構成することができない。これに  
対し、外装や加工性に優れ耐食性を持つ素材を  
予め、円筒しくは円状に成形し、その後、磁性  
を附しても、例えば炭素鋼等では附される磁性  
に制限され、付々巨額の効果の大きいものが得  
られない。

本発明は、上記欠点の解決を目的とし、とく  
に、眼鏡フレームの中に、少なくとも一部が層  
状された充填体を収め込んで成つて、外装が全  
く損なわれることなく、耐食性に優れる眼鏡を  
提案する。

すなわち、本発明は、眼鏡フレームの少なく  
とも一部内に層状された充填体を収容させて成  
ることを特徴とする。

(4)

大きく、とくに、外装のチューブ1は、装飾  
的要求が大きく、更に、人体の一部に常に接近  
若しくは接触するため、通常は、金、銀、銅の  
影響を受け、耐食性に優れることが要求される。  
このため、眼鏡フレームは、金、銀、プラチナ  
その他の貴金属から構成するのが好ましい。こ  
のため、本発明においてもチューブ1は貴金  
属から構成し、この中に充填体5を収容させて  
眼鏡フレームを構成する。

また、このように外装チューブ1の中に充  
填体5を収め込んで、この充填体5の少なくと  
も一部は層状して磁性を附する場合に、充填体  
5にはなるべく大きな磁性が与えられることが  
好ましい。このために、充填体5は、通常、迷  
径した磁材若しくは磁石として構成するのが  
好ましいが、所装に応じて、充填体5の一部分  
のみを磁性材料から構成することもできる。

また、上記の通りチューブ1に充填体5  
を収め込んで、それを眼鏡部1の形状に成型す  
る場合は、充填体5は磁石が成型性に優れる

(6)

材料から構成することが好ましいが、チューブ1aに充填体5を完全に収め込むためには、チューブ1aが充填体5に比べて展延性に優れるものから構成するのが好ましい。

例えば、第3図に示す如く、管状チューブ1a中に融状材から成る充填体5を収め込む場合は、これらの間に空隙が存在すると、その周囲に形成される境界が乱れ、磁気が漏洩して好ましくないが、チューブ1aの中に融状の充填体5を空隙なく整合させて収め込むことは不可能に近い。むしろ、チューブ1aの中に充填体5が収め込まれたときは、その間に、多少少なからず空隙若しくは間隙が存在する。この場合、チューブ1aが充填体5に比べて展延性に優れていると、チューブ1aの中に充填体5を収め込んだ状態で、更に所定の圧延成型することによつて、チューブ1aは伸ばされて空隙をほとんどなくすることができるほか、包囲体1aの内厚も薄くすることができ、とくに、包囲体1aを貴金属から構成する場合は、貴金属が節約できて

(7)

等を除去して、第4図(c)の如く、一体にする。また、これを例えば図1の如く環状に構成する場合は、プレス等で環状に成形し、その端部を溶接し、所定に応じて熱処理後、磨研すれば良い。

なお、充填体5を磨研する場合は、その底面に少なくとも2箇の面をえき、その上で磨研すれば、容易に環状の磁性体が構成できる。

以上詳しく説明した通り、本発明はフレームの少なくとも一部に磨研された充填体を収め込んで成るものであるから、磨研したとき、充填体からの磁気が該の周囲の血管等に作用し、血液の循環を促進して夜れ目等が生じることがない。

また、第2図に示す如く、つる2の一部に充填体を収め込むことができ、この場合は、第4図(c)の形態のものをつくるように構成すれば十分である。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図ならびに第2図は本発明の一つの実施

(9)

好ましい。

また、充填体5は磁性が大きいものは成磁性が損なわれるが、例えば、Cr、Co等を含む鉄系合金等は、磨研性に優れると同時に成形性に優れて好ましく、また、たとえ成磁性の悪い充填体の場合でも片状のものとして充填すれば容易に所望形状に成型できる。

また、上記の如く、チューブ1aの中に充填体5を収め込む場合に、種々の組込み法が考えられるが、チューブ1aの端から充填体5を差込み、そのローラ等をかけて所望形状に圧延成型する。この場合、チューブ1aの断面形状は、該配の充填体5の断面形状よりやや大きく形成し、例えば、充填体5の形状が、三角形、四角形若しくは一部が円弧状のものであつても、チューブ1aの断面は、円形状に構成する(第4図(a)参照)。その後、このチューブ1aの一端から、充填体5を挿入し、第4図(a)に示す如く、組合わせる。その後、組合わせられた状態でカリパー付ローラ等によつて圧延し、例えば、間隔4

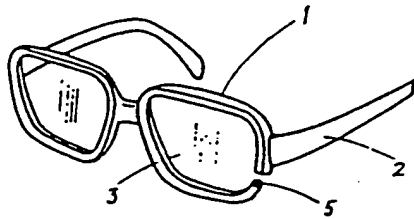
(8)

内に係る図の斜視図であり、第3図は図1の一部の一部を断面で示す斜視図、第4図(a)、(b)ならびに(c)は図1等の製作過程の説明図である。

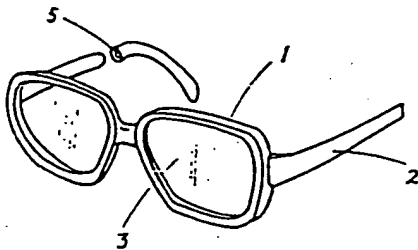
符 号 1 ……図1部      2 ……つる  
3 ……レンズ      5 ……充填体

特許出願人    徳    田    昭  
代 理 人    井 野 士   松 下   義 勝  
                 阿   瀬   川   幹 夫  
                 阿   瀬   川   政

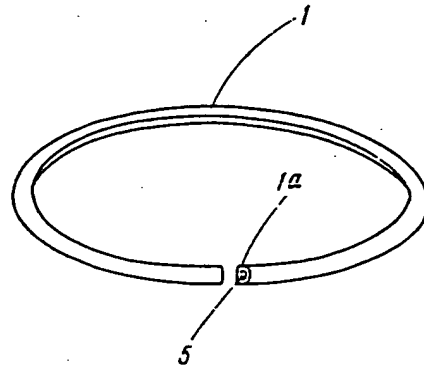
第1図



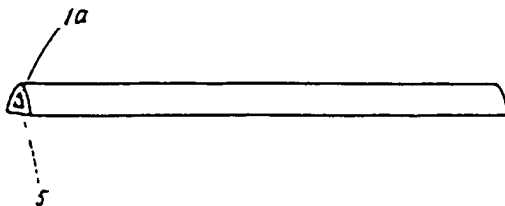
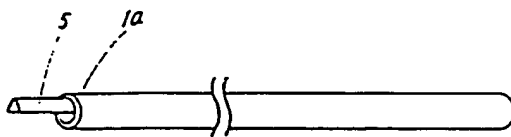
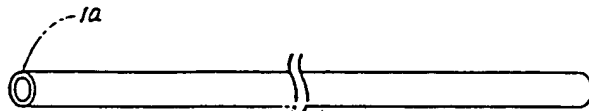
第2図



第3図



第4図



手続補正書（方式）

昭和54年2月16日

特許庁長官 熊谷 善二 殿  
特許庁審査官

1. 事件の表示

昭和53年 特許庁 第123664号

2. 考案の名称 眼鏡

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

居 所 東京都渋谷区代々木5-15-10-402

名 称 徳田 昭  
代表者

4. 代理人

住 所 東京都中央区銀座3丁目11番5号  
〒104才二中山ビル3階電話(03)7625-7615

氏 名 (7610) 井冠士 松 下 毅 勝

5. 補正命令の日付 昭和54年1月30日

6. 補正により増加する発明の数

7. 補正の対象 図 面（第4図）特許庁

8. 補正の内容 別紙の通り

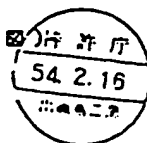
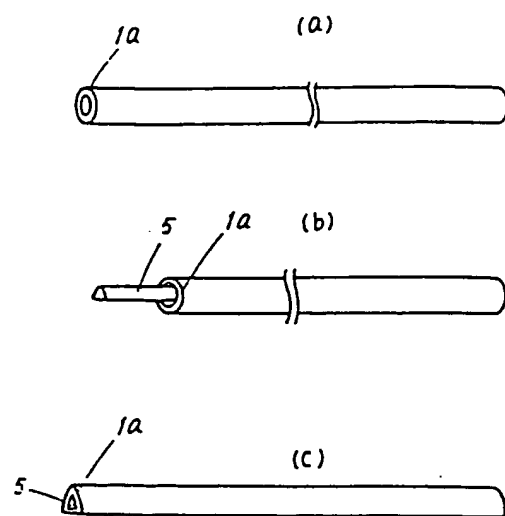


図4



2/3/1  
DIALOG(R) File 347:JAPIO  
(c) JPO & JAPIO. All rts. reserv.

00562617  
SPECTACLES

PUB. NO.: 55 -050217 [JP 55050217 A]  
PUBLISHED: April 11, 1980 (19800411)  
INVENTOR(s): TOKUDA AKIRA  
APPLICANT(s): TOKUDA AKIRA [000000] (An Individual), JP (Japan)  
APPL. NO.: 53-123664 [JP 78123664]  
FILED: October 09, 1978 (19781009)  
INTL CLASS: [3] G02C-011/00  
JAPIO CLASS: 29.2 (PRECISION INSTRUMENTS -- Optical Equipment); 28.2  
(SANITATION -- Medical); 41.4 (MATERIALS -- Magnetic  
Materials)  
JOURNAL: Section: P, Section No. 16, Vol. 04, No. 86, Pg. 128, June  
20, 1980 (19800620)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To obviate acting of magnetism from packing and occurrence of the fatigue, etc. of the eyes when the spectacles are worn by fitting the magnetized packing to part of the spectacle frame.

CONSTITUTION: The spectacle frame consist of a lens part 1 and bows 2. A magnetized packing 5 is fitted in part thereof, e.g., lens part 1, in such a manner that it does not expose to the outside of the spectacle frame. Or the packing 5 is fitted in the bows 2. It is preferable that the packing 5 is constituted by powder form material or material of superior moldability.

?

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**